

年間学習計画と評価について

学 校 名	学 年	教 科
内 部 中 学 校	2 年	美 術

1 学習のねらい等

学習のねらい	<ul style="list-style-type: none"> ○ 絵画（鉛筆デッサンの基礎） <ul style="list-style-type: none"> ・ ものの見方や感じ方を深め、対象の形や明暗をとらえて立体的に表現する。 ○ デザイン（透視図法を用いた平面構成） <ul style="list-style-type: none"> ・ 図法を理解し、立体感のある画面を構成する。 ・ 伝えたい内容を印象的に強調して表す。 ○ 工芸（篆刻） <ul style="list-style-type: none"> ・ 印の特徴を理解し、効果的に技法を用いて制作する。 ○ 鑑賞 <ul style="list-style-type: none"> ・ 作者の個性をつかみ、表現されている内容を素直に味わう。
使用教材	教科書：美術 2・3 上「学びの深まり」・下「美の探求」（日本文教出版） 副教材：美術資料（秀学社） 使用教材：鉛筆、スケッチブック、アクリルガッシュ、ケント紙、篆刻用石材など

2 評価の観点および方法

	評 価 の 観 点	評 価 の 方 法
① 関心・意欲・態度	【全単元共通】 <ul style="list-style-type: none"> ・ よりよい作品をつくるため、課題を理解し、集中して制作できる。 ・ 作品やプリントを期日までに提出することができる。 ・ 毎時間、自主的に準備や片付けができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 授業態度 ・ 準備物 ・ 提出物 ・ 期末テスト（筆記）
② 発想や構想の能力	【デザイン】 <ul style="list-style-type: none"> ・ 図法を理解し、立体感のある画面を構想することができる。 ・ 独創的な画面を構成することができる。 【絵画】 <ul style="list-style-type: none"> ・ 対象の特徴をとらえて、発想したり構成したりする。 【工芸】 <ul style="list-style-type: none"> ・ 印の特徴を理解し、効果的に技法を用いて制作する。 	アイデアスケッチ作品 プリント作品 期末テスト（実技） プリント作品

<p>③創造的な技能</p>	<p>【絵画】</p> <ul style="list-style-type: none"> 鉛筆の使い方を工夫して、材質感や立体感を表すことができる。 <p>【デザイン】</p> <ul style="list-style-type: none"> 配色を工夫することで、より効果的に表すことができる。 <p>【工芸】</p> <ul style="list-style-type: none"> 計画的に取り組み、自分のイメージに合わせて考えながら制作できる。 	<p>プリント 作品 期末テスト（実技）</p> <p>プリント アイデアスケッチ 作品</p> <p>作品</p>
<p>④鑑賞の能力</p>	<p>【全単元共通】</p> <ul style="list-style-type: none"> 自他の作品のよさや美しさを味わい、表現方法を感じ取ろうとする。 対象に向かう作者の姿勢や表現上の特色などを感じ取りながら、作品の魅力を味わうことができる。 	<p>鑑賞プリント 期末テスト（鑑賞）</p>

3 学習計画

	各単元と主な学習内容	観点別評価の具体例
<p>一学期</p>	<p>絵画（鉛筆デッサン）</p> <p>デザイン（透視図法の作図、透視図法を用いた平面構成）</p> <p>鑑賞（ポスター）</p> <p>期末テスト（鉛筆デッサン）</p>	<p>②ものの見方、感じ方を深め、構想することができる。</p> <p>③形の特徴や明暗を捉え、立体感を表すことができる。</p> <p>②図法などを用いて構想し、立体的な構成ができる。</p> <p>③平ぬりの技法を用いて、美しく彩色できる。</p> <p>④色や形の工夫から、作者の意図を捉えることができる。</p> <p>②ものの見方、感じ方を深め、構想することができる。</p> <p>③形の特徴や明暗を捉え、立体感を表すことができる。</p>

二 学 期	デザイン（透視図法を用いた平面構成）	②図法を用いて構想し、立体的な構成ができる。 ③平ぬりの技法を用いて、美しく彩色できる。
	鑑賞（平面構成）	④作品のよい点、気づいた点、疑問点など自分の見方を深める。 お互いの発見や感動の喜びを尊重し共有することができる。
	工芸（篆刻）	②陰刻・陽刻を生かしたデザインを発想することができる。 ③美しい文字を彫ることができる。
	期末テスト（鉛筆デッサン）	②ものの見方、感じ方を深め、構想することができる。 ③形の特徴や明暗を捉え、立体感を表すことができる。
三 学 期	工芸（篆刻）	②陰刻・陽刻を生かしたデザインを発想することができる。 ③美しい文字を彫ることができる。
	鑑賞	④作品のよい点、気づいた点、疑問点など自分の見方を深める。 お互いの発見や感動の喜びを尊重し共有することができる。
	学年末テスト（鉛筆デッサン）	②ものの見方、感じ方を深め、構想することができる。 ③形の特徴や明暗を捉え、立体感を表すことができる。

4 学習方法についてのアドバイス

学習方法	学校	<ul style="list-style-type: none"> 真剣な態度で授業に臨みましょう。授業に対する姿勢が作品に表れます。授業と関係のないお喋りをしながらではよい作品はできません。 忘れ物に気をつけましょう。学校では貸し出しは行いません。友達から借りることもしません。自分の用具で作品づくりに臨みましょう。 提出期日を守りましょう。作品が提出されていなければ評価できません。
	家庭	<ul style="list-style-type: none"> 「ものを見る目」「ものごとを感じる心」を育てましょう。美術館だけでなく、テレビ、雑誌、お店の看板やポスター、本の表紙や挿絵などを注意深く見てみましょう。また、身近な自然（草花、空、川など）にも心を傾けてみましょう。世の中にはたくさんの「いろ」と「かたち」があふれています。作品づくりのヒントを見逃さないよう、アンテナを高く持っていきましょう。 定期テスト前には、鉛筆デッサンの練習をしましょう。デッサンは、描けば描くほど上達します。あきらめずに取り組みましょう。